

資料7

エリアコーディネーターと
ネットワークについて
（地区特別支援連携協議会）

青森県教育庁学校教育課

地区特別支援連携協議会及び 特別支援教育エリアコーディネーターとは

令和8年度障がいのあるこどものための総合支援事業実施要項

青森県教育委員会

1 趣旨

本事業は、特別支援学校の地域における特別支援教育のセンター的機能を活用し、教育、医療、保健、福祉、労働等の関係機関の下、発達障がいを含む全ての障がいのある幼児児童生徒とその保護者に対しての教育相談を含め、一貫した支援体制の更なる充実を図ることを目的とする。

2 事業の内容

- (1) 教育相談を含む、早期からの一貫した支援を図るための取組
- (2) 特別支援教育に関する専門性の向上を図るための取組
- (3) 関係機関と連携を強化するための取組

3 事業の実施方法

- (1) 県内6地区ごとに、地区内の特別支援学校1～2校を、教育、医療、保健、福祉、労働等の関係機関で組織する「地区特別支援連携協議会」事務局（以下「事務局校」という。）とする。
- (2) 事務局校は、関係機関との連携の下に、地区特別支援連携協議会を開催する。
- (3) 事務局校の校長は、地区特別支援連携協議会担当者を「特別支援教育エリアコーディネーター」に指名し、関係機関との連絡調整及び地域のニーズを踏まえた特別支援学校のセンター的機能の充実に係る取組を行う。
- (4) 関係機関は、地区特別支援連携協議会において、本事業に係る必要事項を協議するとともに、事務局校と連携し、地区内の特別支援教育の推進に係る取組を行う。
- (5) 学校教育課は、事業を円滑に進めるために、事務局校担当者等による特別支援教育エリアコーディネーター連絡協議会を開催する。

地区	事務局校
東青	青森聾
西北	森田養
中南	弘前聾
上北	七戸養
下北	むつ養
三八	八戸聾

特別支援教育エリアコーディネーターは各地区1名で全6名

年2回（春・冬）開催
春：対面、冬：オンライン

令和7年度の各地区特別支援連携協議会の取組実績

各地区における会議及び研修会（参加状況）

地区	会議及び 研修回数	参加者数（単位：人）			
		教育	福祉	保健	その他
東 青	2	1 0 2	2 8	6	1 5
西 北	4	8 1	2 9	1 9	2 5
中 南	7	2 2 2	3 3	3 3	4 8
上 北	7	1 3 8	4 0	1 0	7 3
下 北	3	3 1	1 4	1 7	2 0
三 八	5	9 2	1 1	7	4 5

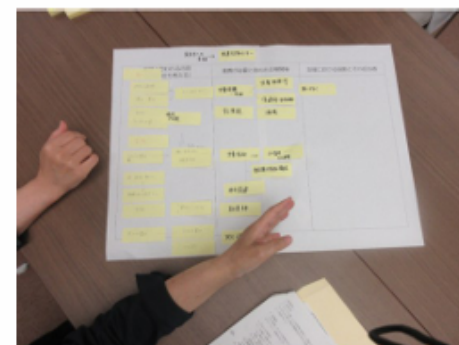
※「教育」には、事務局の特別支援学校の参加者は含まない。

※支部・地区・担当者会等は含まない。

令和7年度の各地区特別支援連携協議会の取組実績

各地区における研修会（実施状況）

地区	期日		テーマ等
東青	8/4 (月) 【チーム】	講話	「スクールソーシャルワーカーの役割について～不登校対応におけるスクールソーシャルワーカーの視点～」 (講師) スクールソーシャルワーカー 金澤 拓紀 氏
		座談会	「幼児への対応・園との連携」「通常の学級」「不登校」「保護者との連携」「思春期の対応・中高連携」「こどもの育ち」
西北	12/9 (火) 【チーム】	研修会	「子どもが安心できる居場所づくりについて考える～安全基地として大人ができること～」 (講師) 森田養護学校 教諭 飯田 かおり 氏 「地域で育まれるフリースクールについて」 (講師) 一般社団法人ミライク理事 下山 翔大 氏
中南	10/7 (火) 【チーム】	講演	「特別な支援を必要とする子どもたちへの理解と支援」 (講師) 弘前大学大学院 保健学研究科 教授 斉藤 まなぶ 氏
	1/7 (水)	研修会	「通常の学級で困り感をもつ子ども達への支援について～学習支援室（ぴあるーむ）の取組から～」 (講師) 弘大教育学部附属学校園 元教諭 中村 修 氏



令和7年度の各地区特別支援連携協議会の取組実績

各地区における研修会等（実施状況）

地区	期日		テーマ等
上北	7/26 (土) 【チーム】	話題 提供	「こどもと良い関係を築くために親としてできること」「早期から福祉とつながるメリット」「こどもの頃にしてほしかったこと」 (話題提供者) 当事者、保護者
		講演	「発達障がいのあるこどもの医療との連携について」 (講師) すわクリニック 院長 後藤 麻美 氏
	1/8 (木)	発表	「ユニバーサルデザインの視点を入れた授業実践」 (発表者) 十和田市立ちとせ小学校 教諭 大平 久瑠実 氏 「多様なこどもたち同士の温かな人間関係を育む学級づくり」 (発表者) 青森県立七戸養護学校 教諭 甲地 佳子 氏 「自分らしく生き生きと暮らせる社会に～行政の取組」 (発表者) 十和田市役所生活福祉課 小笠原 尚子 氏
		講演	「多様な子どもがいることを前提としたインクルーシブな学校づくりー次期学習指導要領を踏まえて」 (講師) 一般社団法人UNIVA 理事 野口 晃菜 氏



令和7年度の各地区特別支援連携協議会の取組実績

各地区における研修会（実施状況）

地区	期日		テーマ等
下北	7/24 (木) 【チーム】	講演	「君たちはスマホとどう生きるか～下北の未来を創るこどもたちを育てるために、今、すべきこと～」 (講師) ころの相談室こじか 公認心理師 小鹿 和男 氏
三八	1/20 (火) 【チーム】	講演	「楽しく子育て ペアレントトレーニング 入門講座」 (講師) 公認心理師 石岡 れい子 氏



※スライド4～6 表中の【チーム】は、「チームで支える特別支援教育校内支援体制充実事業」を兼ねていることを示している。

令和8年度チームで支える特別支援教育校内支援体制充実事業実施要項

青森県教育委員会

1 事業目的

小・中学校、義務教育学校及び高等学校（以下、「小・中学校等」という。）の通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の特性に応じた学びを支援するため、地域資源を活用し校内支援体制の充実を図るとともに、通級による指導を担当する教員の専門性の向上を図る。

2 事業内容

(1) 外部機関と連携した校内支援体制の充実・強化

小・中学校等が特別支援教育コーディネーターを中心として、関係機関と連携しながら、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の具体的な支援方法や合理的配慮について検討及び実施するなど、校内委員会及び校内支援体制の充実を図る。

・
・
・

③ 地区特別支援連携協議会による取組

ア 保護者等に向けた理解啓発研修会の開催（年1回）

- ・地区特別支援連携協議会は、保護者及び福祉施設関係者等を中心に発達障がい等のある児童生徒の教育的支援の具体やインクルーシブ教育システムの充実に資する研修会を開催する。
- ・日時は、各地区特別支援連携協議会が設定する。